

カウリングのねらいは、

- レーシングポジション時にクラス最少のCD値※
- ウイングレットによる加速時のフロントリフト抑制と
- ブレーキング時の安定感向上

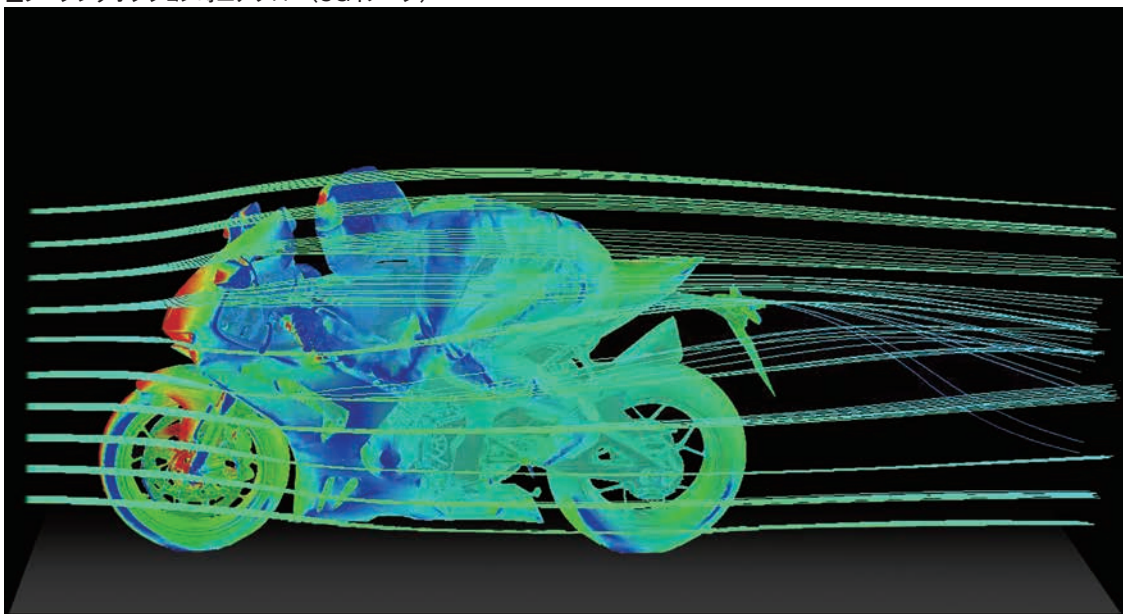
RR-Rでは、以下を実現することでこれを達成しました。

●レーシングポジション時にクラス最少のCD値

サーキットにおける速度域とライディングを前提として、空力領域では以下の手法により走行抵抗低減を図りました。

※ Honda調べ、2020年2月時点、直列4気筒1000ccスーパースポーツクラス。

■レーシングポジション時エアフロー (CGイメージ)



○前面投影面積減少、防風性能

フューエルタンクシェルターの上面を、完成車状態で従来のCBR1000RRより45mm低い位置に設定し、レーシングポジションでの前面投影面積減少に大きく寄与しています。併せてスクリーン角度を35°に設定し、フロントカウルを構成する各サーフェスを大きなR(曲率)でつなぐことにより、サーキットにおけるライダーのさまざまな姿勢に対応した防風性能を確保しました。また、アッパーカウル上部左右のスリットにより、旋回時のYaw(ヨー)、Roll(ロール)モーメントの低減を図り操縦性の自由度を追求しました。